

支出項目

政務活動費

調査研究費

No.1

30 月	年 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
7	25 ~27	行政視察（石川県金沢市、かほく市、富山県富山市）（会派）	441,740	441,740
		合計	441,740	

出張旅費計算書

摘要	自由民主党茅ヶ崎市議団 石川県（金沢市、かほく市）富山県富山市 （政務活動費）		出張者氏名	水島誠司、永田輝樹 柁木太郎、岩田はるみ 小島勝己、水本定弘			
期日	平成30年7月25日から 平成30年7月27日まで 2泊3日		随行者氏名				
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)	
茅ヶ崎—東京 (JR東海道本線)	1	1	58.6	8,210	-	15,590 ✓	
東京—金沢 (JR新幹線かがやき)			450.5		6,980 ✓		
金沢—香林坊 (北陸鉄道バス)			2.3	200 ✓	-		
香林坊—金沢 (北陸鉄道バス)			2.3	200 ✓	-		
金沢—津幡 (JRいしかわ鉄道)	1	1	11.5	400 ✓	-	1,700 ✓	
津幡—宇野気 <small>かま</small> (JR七尾線)			8.8				
宇野気—津幡 (JR七尾線)			8.8	210			
津幡—倶利伽羅 (JRいしかわ鉄道)			6.3	230			
倶利伽羅—富山 (あいの風とやま鉄道)			41.6	860			
富山—大宮 (JR新幹線かがやき)	1	-	361.6	7,340	6,240	13,580 ✓	
大宮—茅ヶ崎 (JR湘南新宿ライン)			92.7		-		
計	3	2	1,045.0	17,650	13,220	(A) 30,870	
日当	3	日 × @	2,400	(B)	7,200 ✓		
宿泊料(7/25)	1	日 × @	(1泊朝食付き) 10490	(C)	10,490 ✓		
宿泊料(7/26)	1	日 × @	(1泊朝食付き) 5850	(D)	5,850 ✓		
夕食代	2	日 × @	2000	(E)	4,000 ✓		
合計	(A) + (B) + (C) + (D) + (E) 58,410			×	人	350,460 ✓	

出張旅費計算書

摘要	自由民主党茅ヶ崎市議団 石川県(金沢市、かほく市) (政務活動費)		出張者 氏名	広瀬忠夫			
期日	平成30年7月25日から 平成30年7月26日まで 1泊2日		随行者 氏名				
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)	
茅ヶ崎—東京 (JR東海道本線)	1	1	58.6	8,210	-	15,590	
東京—金沢 (JR新幹線かがやき)			450.5		6,980		
金沢—香林坊 (北陸鉄道バス)			2.3	200	-		
香林坊—金沢 (北陸鉄道バス)			2.3	200	-		
金沢—津幡 (JRいしかわ鉄道)	1	-	11.5	400	-	1,700	
津幡—宇野気 (JR七尾線)			8.8				
宇野気—津幡 (JR七尾線)			8.8	210			
津幡—倶利伽羅 (JRいしかわ鉄道)			6.3	230			
倶利伽羅—富山 (あいの風とやま鉄道)			41.6	860			
富山—大宮 (JR新幹線かがやき)			361.6	7,340			6,240
大宮—茅ヶ崎 (JR湘南新宿ライン)	92.7	-					
計	2	1	1,045.0	17,650	13,220	(A) 30,870	
日当	2	日×@	2,400	(B) 4,800			
宿泊料(7/25)	1	日×@	(1泊朝食付き) 10490	(C) 10,490			
夕食代	1	日×@	2000	(D) 2,000			
合計	(A) + (B) + (C) + (D)			×	人	48,160	
	48,160			×	1	48,160	

出張旅費計算書

摘要	自由民主党茅ヶ崎市議団 石川県（金沢市、かほく市）富山県富山市 （政務活動費）		出張者 氏名	小川裕暉			
期日	平成30年7月26日から 平成30年7月27日まで 1泊2日		随行者 氏名				
経路	日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金（円）	金額（円）	
茅ヶ崎—東京 （JR東海道本線）	1	1	58.6	8,210	-	16,890	
東京—金沢 （JR新幹線かがやき）			450.5		6,980		
金沢—津幡 （JRいしかわ鉄道）			11.5	400			
津幡—宇野気 （JR七尾線）			8.8				
宇野気—津幡 （JR七尾線）			8.8	210			
津幡—倶利伽羅 （JRいしかわ鉄道）			6.3	230			
倶利伽羅—富山 （あいの風とやま鉄道）			41.6	860			
富山—大宮 （JR新幹線かがやき）	1	-	361.6	7,340		6,240	13,580
大宮—茅ヶ崎 （JR湘南新宿ライン）			92.7			-	
計	2	1	1,040.4	17,250	13,220	(A) 30,470	
日当	2	日 × @	2,400	(B)	4,800		
宿泊料	1	日 × @	(1泊朝食付き) 5850	(C)	5,850		
夕食代	1	日 × @	2000	(D)	2,000		
合計	(A) + (B) + (C) + (D)		43,120	× 1人	43,120		

領収証 RECEIPT

No. 014893

自由民主党茅ヶ崎市議団 様

H30年7月26日

¥ 73430

内訳

消費税額 (8%)

上記金額正に領収致しました。

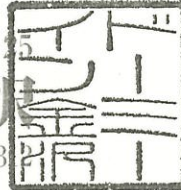
但 7/25~1泊 御宿泊代

〒920-0849 石川県金沢市堀川新町 2-

加賀の湧泉

ドーミーイン金沢

TEL 076-263-9888 FAX 076-263-93



発行者印



dormy inn

領収書

No.000000133 HOST
[チェックイン]

18/07/26 17:10

部屋No. 410

ご利用日 2018/07/26

自由民主党茅ヶ崎市議団

様

ご請求額 40,950円

上記金額を領収致しました

ホテルルートイン富山駅前

富山県富山市新富町1-3-3
TEL 076-433-5111
FAX 076-433-1408

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

ルートインジャパン株式会社
作成地：東京都品川区大井1-35-3

◆ご利用部屋明細◆

ご請求額 40,950円

室料 (内消費税) 40,950円
3,031円

ご入金額 40,950円(現金)

政務活動報告書

平成31年3月31日

茅ヶ崎市議会議長
白川 静子 様

(会派名) 自由民主党茅ヶ崎市議団

(氏名) 水島 誠司

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	平成30年7月25日(水)～7月27日(金)
目的 地 (研 修 地)	石川県金沢市、石川県かほく市、富山県富山市
政務活動の結果	別紙のとおり



視察項目 金沢市における自転車利用環境について

1、条例改正の背景について

金沢市では平成 26 年に金沢市における自転車の安全な利用の促進に関する条例を制定し、安全で良好な生活環境の確保を図ってきました。

しかしながらその後も市内の交通事故発生件数が減少しているものの平成 28 年では自転車事故件数及び自転車対歩行者の事故件数が増加に転じたことや、全国的に自転車事故による高額賠償事例の発生が相次いでいること、北陸新幹線金沢開業に伴い来街者が増加していることにより、自転車の交通事故リスクが拡大してきた。

このような背景から、金沢市における自転車の安全な利用の促進に関する条例を改正し、自転車の利用者に対し自転車損害賠償保険等の加入を義務付ける他乗車用ヘルメットの着用促進等に係る規定を整備することとした。

2、平成 30 年 4 月 1 日より改正条例施行、条例の改正のポイント

- イ) 自転車は「車車両」であることを明記した
- ロ) 自転車損害賠償保険の加入義務化
- ハ) 乗車用ヘルメットの着用努力義務化
- ニ) その他、自転車通行空間の整備促進など

3、条例に基づく自転車安全施策

- イ) 自転車ルール、マナーに関する検定実施
 - ・市内全中学校 1 年生、27 校 市内高校など
 - ・合計 5004 人受講
- ロ) 自転車利用ルール遵守宣言校
 - ・市内中学校 2 校
- ハ) 市内小学校 3 年生自転車安全教室
 - ・58 校 4087 人受講

4、検証結果

- イ) 条例改正に伴い事故件数の減少はかなりの成果
- ロ) 今後更に小中学生への安全教育の強化を図り事故件数減少死亡者数の減少が見られた。

自民党茅ヶ崎市議団視察報告書

報告者：水島誠司

日時：平成30年7月26日

13:30～

場所：かほく市役所 2F 議会会議室

視察項目

1. 上下水道施設の包括的民家印委託について

説明者：かほく市役所 上下水道課 課長・課長補佐・係長・主査

かほく市の概要

かほく市は、石川県のほぼ中央に位置し、県都金沢市の約20～25km圏内にあります。西に風光明媚な日本海を望み、北は宝達志水町、東は津幡町に、南は内灘町に接している。

地勢については、東から西に向かい、山地、丘陵地、段丘地、沖積低地、海岸砂丘地で形成されており、北部では大海川が日本海に、南部では宇ノ気川が河北潟に注いでおり、これらの地形と一体となった緑豊かな自然環境を有する。かほく市は、東西約9km、南北は最長約12.9kmで、64.44km²の面積を有し、民有地の約49%が農地、約23%が山林原野、約20%が宅地となっている。

平成 27 年の国勢調査によると、市の総人口は 34,219 人、世帯数は 11,604 世帯、1 世帯当たりの人口は 2.95 人。推移を見ると、人口はほぼ横ばい、世帯数は増加している。このことから、1 世帯当たりの人口は減少しており、核家族化の進行がうかがえる。また、老年人口比率や年少人口比率の推移を見ても、少子高齢化が進行している。

視察目的

全国的に財政状況が厳しい中、様々な施策を展開し歳出の削減を展開している自治体に石川県かほく市がある。現在、国会等でも取り上げられている上下水道の民営化に早くから取り組んでいた。施設を一体管理する民間委託について今後、茅ヶ崎市にも取り入れられることもあると考え視察した。

背景には、市財政も厳しい中、下水道の維持管理予算が削減される傾向にあることと、市町村合併等による職員数の削減も重なり、行政だけでは事業の継続が懸念されている上水道・下水道事業における管理業務の委託について検討されていた。まずは下水道事業について包括的民間委託を実施。また、さらなる業務効率化が必要であったことから人材・技術が類似する水道事業の管理についても一体的に管理することで、維持管理の効率化を図る為、民間委託となった。

私見

上下水道施設の一体管理の中には 公共下水道・農業集落排水事業・水道事業と事業による管理手法の違いや財政の悪化などそれぞれの事業で課題があった事から始まった制度。第 1 期から第 3 期まで段階的にプロポーザルで委託していく手法で民間事業者のノウハウを活用することでコストの削減や水

質向上に繋がったことは大きい。今後は料金・窓口などの業務も委託していくという。茅ヶ崎市でもあり得ることは委託業者に任せきりになることでのPDCAサイクルの見直しや事業自体の技術力の低下と職員の意識の低下は課題だと考える。全国的にも上下水道の民営化は進むと思われるが、外国の事業者が委託されるケースが多いこともある事から行政、又は議会のチェックについては大変重いと考える。

平成 30 年度 自由民主党茅ヶ崎市議団視察報告書

1. 参加議員

水島誠司、永田輝樹、柁木太郎、広瀬忠夫、岩田はるみ、小島勝己、水本定弘、小川裕暉

2. 視察日時

平成 30 年 7 月 27 日 (金) 午前 10 時から 11 時 30 分まで

3. 視察先

富山県富山市

4. 視察事項

富山市シティプロモーション推進事業

「選ばれる町へ～シティプロモーション&シビックプライド～」について

5. 視察概要

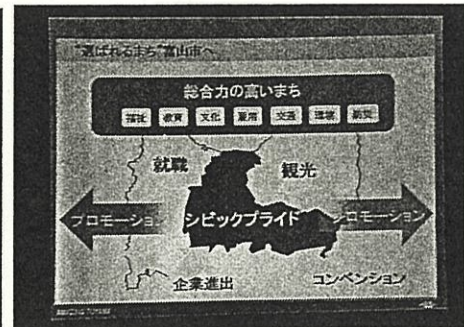
	(担当 小川裕暉)
視察先選定理由	<p>当市の人口推計で平成 32 年度以降は人口減少という予測の中、市民にいつまでも茅ヶ崎で住みたいという気持ちの醸成と、これからも市外から当市に住みたい、働きたいといった人を受け入れ続けることのできる選ばれる町になることは、今後の重要な課題と考える。</p> <p>その中、富山市では、いち早く、平成 21 年 12 月から、市民に対しては、富山市に対して愛着や誇りをもつ「シビックプライド」を、市外の人に対しては認知度向上やイメージアップとして「シティプロモーション」に取り組んでいる。</p> <p>会派として、これら取り組みは、当市も平成 32 年度以降を見据えて、必要なものであると判断し、視察先として選定した。</p>
富山市出席者	企画管理部 広報課
内容	<p>〈説明〉企画管理部 広報課 シティプロモーション推進係長</p> <p>【事業概要】</p> <p>「暮らしたいまち」「訪れたいまち」として様々な場面で選ばれるまちとなるため、市の認知度やイメージ向上の「シティプロモーション」の推進と、市民の市に対する愛着や誇りである「シビックプライド」の醸成を図るため。21 年 12 月より「富山市シティプロモーション推進事業」を開始した。</p> <p>シティプロモーション (City Promotion) : “まち” の魅力を発見・再確</p>

認し、市内外へ積極的に発信することにより、交流人口・定住人口の増加を実現。

シビックプライド(Civic Pride)：自分たちが住んでいる“まち”に対して抱く住民たちの誇り（郷土愛やまちの自慢）を醸成することにより、地域へのかかわりが増大し、定住人口の維持・増加を実現。

この2つのCPを同時に行うことにより、相乗効果を生み出し、人口の維持・増加の効果をより大きくする。

シティプロモーション推進計画は、21年度策定、26年度末までの5か年（北陸新幹線開業が、H27.3）

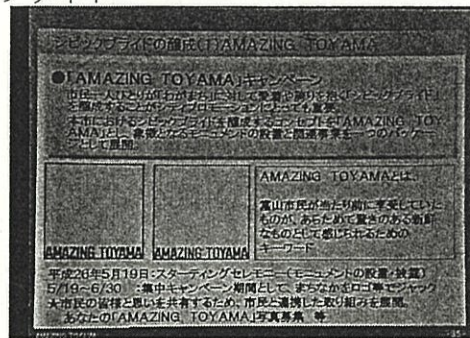


1) シティプロモーション

- ・全国規模の雑誌等に「富山市」特集を掲載
- ・立山のベースキャンプシティとしての富山市を「山ガール」にPR
- ・インバウンド向けとして、「ミシュランガイド富山・石川（金沢）2016 特別編」の出版に合わせ、英語版WEBサイトの製作、H28夏公開
- ・若い子育て層をターゲットに株DLEと連携し、市の魅力を伝えるショートアニメムービー（富山市立探偵ペロリッチ）を製作
- 30年度は、就活生に向け4冊シリーズ「Uターンは若いうちにしろ!!」
- ・22年度より事業者や市民団体等によるシティプロモーションを後押しする為「シティプロモーション認定事業」を開始
- ・「富山のくすり」の伝統を生かし、「富山やくぜん」として認定し、「くすりのまち富山」のイメージアップと観光客誘致を図る
- ・26年3月末、ANA総合研究所と連携協定を締結し、現役CAを「富山市地域づくりマネージャー」として常駐派遣や、PR映像を首都圏へ展開、27年度よりCAサミットを開催

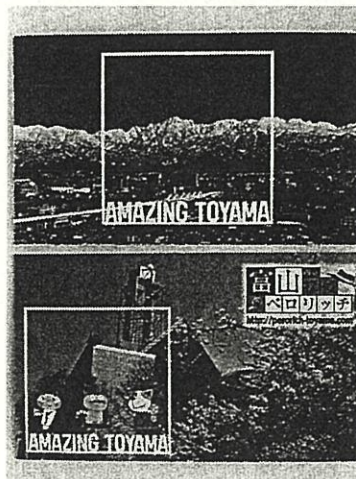


2) シビックプライド





取組コンセプトを「AMAZING TOYAMA」として、26年より開始。

- ・毎年「AMAZING TOYAMA」のモニュメント装飾を実施（インスタ映え）
 - ・まちなか広告パネルにも、「AMAZING TOYAMA」と銘打って発信
 - ・市職員の名刺の裏は「AMAZING TOYAMA」
- 自由に使えるので、市内にもその使用が広がっている。



全ての職員が、この名刺を持つことによる意識の向上

- ・「Homin現象」促進事業（H27～）大学進学等で県外に転出した若年女性をターゲットに、富山での質の高いライフスタイルをPRする

	<p>冊子を制作し、家族からその子への仕送りの際に同封する仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体初のアエラムック本を「市民の暮らし」をテーマ制作 ・「AMAZING TOYAMA フォトプロジェクト：世界を舞台に活躍する富山出身の写真家をプロデューサーとした長期型の写真プロジェクト ・エンジン文化戦略会議オープンカレッジ ・従来型の広報とやまに加え、facebook Twitter Instagram も積極活用して情報発信力を強化 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>考察</p>	<p>市外向けに、「シティプロモーション」を、市内向けに「シビックプライド」と求めるものが違うので、対象をしっかりと分けて考えて事業を展開するとともに、両方を同じ担当課で行うことで、バラバラではなく有機的に機能させ、2つのCPにより、定住人口の維持・拡大を目指すのは理にかなったものであると考える。</p> <p>当市としても、コンセプトをしっかりと打ち出し。対内・対外、その中でもまた対象者を分けて事業を展開していくことが必要である。</p> <p>展開しながら、市内の事業者・大学・市民団体を巻き込みながら広げ、企業提携も視野に進めていく形を整えるべきである。</p> <p>SNSの積極的活用について、facebook Twitter Instagramなどのツールを標重装備として使っていく姿勢も市の広報には求められていると考える。</p> <p>最後に、この取り組みを第三者へ委託するのではなく、行政が中心となり取り組むことにより即時性に富み自由な発想の発信できる強みがある。</p>

6. 参考資料

- (1) 富山市シティプロモーション推進計画（富山市広報課）
- (2) 富山市シティプロモーション&シビックプライド説明資料（富山市広報課）
- (3) 富山で就活！！チラシ：富山市立探偵ペロリッチ（富山市広報課）
- (4) AMAZING TOYAMA（富山市広報課）